

レンコン（優良系統選抜）の現地検討会を開催しました

茨城県は全国のレンコンの約半分を生産する大産地です。近年、レンコンの機能性がメディアで紹介され、レンコンの需要が高まっています。そこで、より品質が良く、生産者が作りやすいレンコンを求めて、全農茨城県本部や産地の JA、生産者、県の関係機関が一丸となって「レンコン優良系統選抜試験」に取り組んでいます（平成 25 年度から）。今回は、これまでに選抜した年明け掘り系統「金澄 39 号」、「みらい選抜」の外観品質等を評価するとともに、今後の進め方について検討しました（平成 29 年 2 月 14 日）。JA 土浦、JA なめがた、JA 稲敷等の生産者、JA 関係者、全農茨城県本部、県関係者の計 41 名が参加し、活発な意見交換を行いました。

1. 選抜試験の内容について

これまでの取り組み状況と、選抜した年内掘り用 2 品種、年明け掘り用 2 品種について、それぞれの特長を紹介しました。

○年内掘り系統の特長

- ・「パワー」：早期肥大性あり、形状、収量性良好、すね上がり遅く長期可、肉厚で、肌白。
- ・「ひたちたから」：早期肥大性あり、肉質が軟らかい、食味評価高く、外観品質優れる。

○年明け掘り系統の特長

- ・「金澄 39 号」：大型で多収、食味評価高い、シャキシャキ感が高い。
- ・「みらい選抜」：節間は丸型の形状、肌白、すね上がり遅く長期可、ポクポクの良食味。

2. 今後の進め方について

- ・選抜系統の増殖については、JA 土浦、JA 新ひたち野、JA なめがた、JA 稲敷の県内の主要 4 産地にそれぞれ原種圃を設置して、その後、生産者向けの増殖圃で種バスの増殖を行う予定であることを説明しました。

3. 総合討論での意見

- ・これまでに優良系統が選抜できたが、産地のレベルアップという点ではまだ始まったばかりである。引き続き各産地で栽培し、特性を確認していく必要がある。
- ・生産者向けの種バスは、厳選して増殖したものを配布するようにしていきたい。

生物工学研究所では、今後も関係機関と連携して生産者の期待に応えられるレンコン優良系統の普及を目指していきます。



選抜した系統の特徴を説明



姿掘りしたレンコンの品質を検討